

1. 概要

- 季節性インフルエンザの発生状況について、感染症法に基づき、全国5千カ所の医療機関、保健所、地方衛生研究所、学校等からの情報をまとめ、例年、厚生労働省及び国立感染症研究所から公表している。

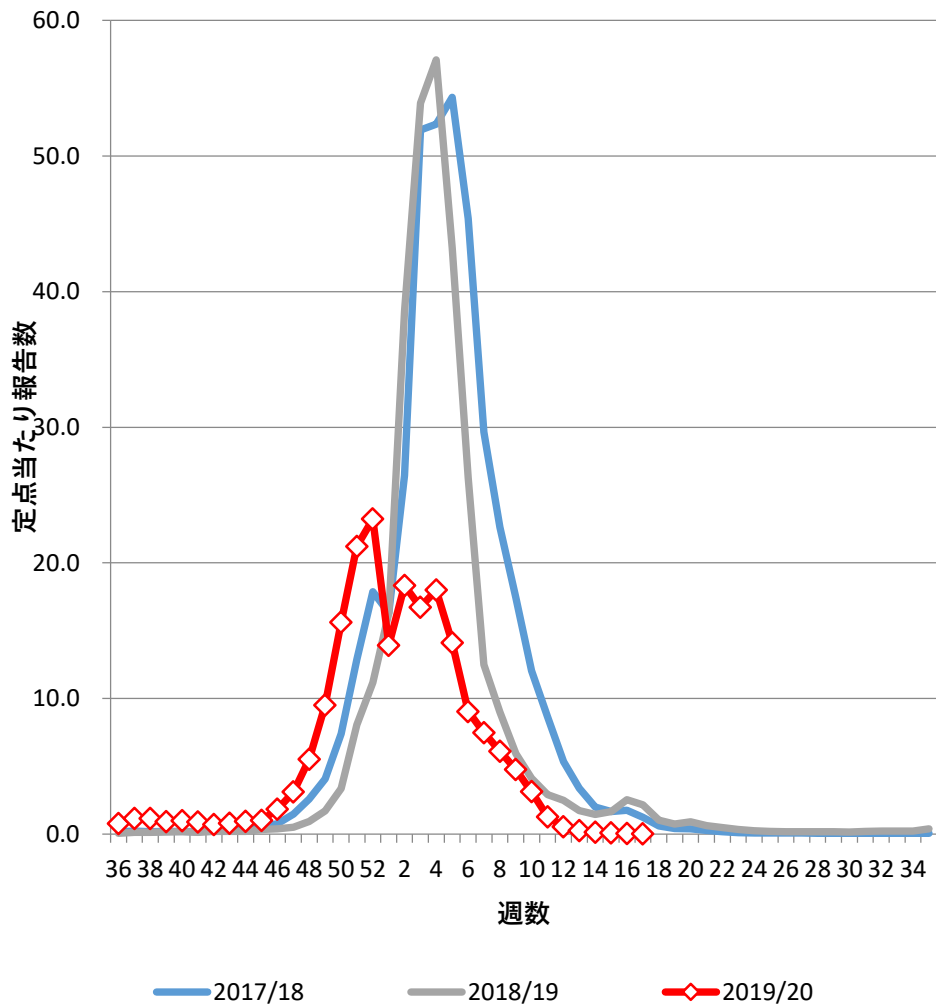
2. 主な内容

- インフルエンザの流行開始時期は、11月下旬（前シーズン同様、早い開始）**流行のピークの時期は、12月下旬から1月上旬**（過去2シーズンより早いピーク）。**ピークの高さは過去2年と比較して低く推移**（累積受診者数（推計）は、約729.8万人（前シーズン約1170.4万人））
- 病原体のシーズン全体に占めるは、**A/H1pdm09亜型が86%**、B型が12%、AH3亜型が2%の順。
- **入院患者数（約1.3万人）は、過去2シーズン（約2万人）と比較して大きく減少したが、15~59歳ではICU利用と人工呼吸器使用の数と割合が過去2シーズンより高い傾向であった。**
- **超過死亡**については、**今後、ICD改定の影響の検討を行い、より精緻な形で実施していく予定である。**なお、従前の分析方法に基づくと、今シーズンの大都市における**超過死亡は観察されなかった。**地域レベルでは、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都特別区、横浜市、名古屋市、広島市、熊本市で超過死亡が観察された。
- **インフルエンザ脳症報告数は254例**であり、過去2シーズン（16/17:166例・18/19:266例）を上回った。10歳未満の割合は71%であり、過去2シーズン（16/17:58%・18/19:69%）を上回った。

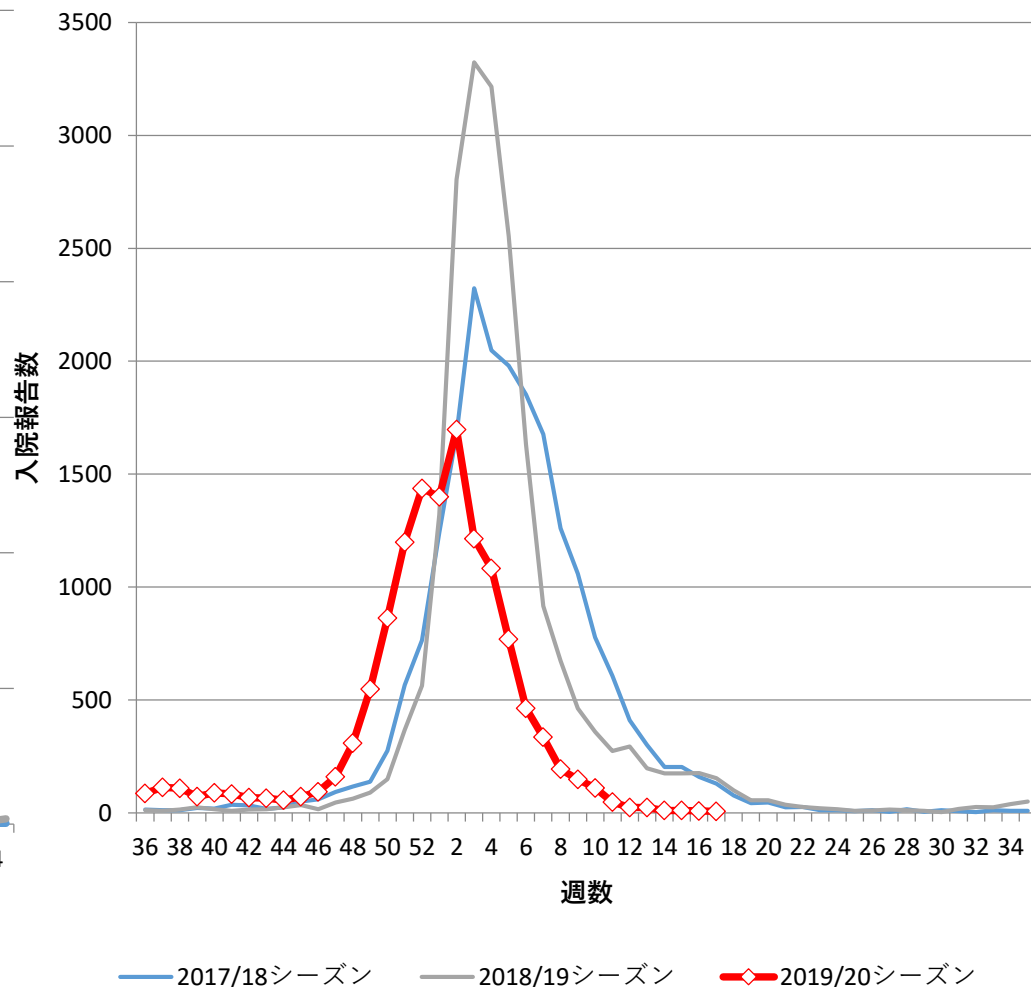
▶ 国立感染症研究所において、引き続き、季節性インフルエンザの発生状況について、疫学的・ウイルス学的観点から分析・検証を進めるとともに、次のインフルエンザ流行に備え、サーベイランスを継続していく。

インフルエンザの推計受診者数/入院患者報告数

インフルエンザの推計受診数の推移

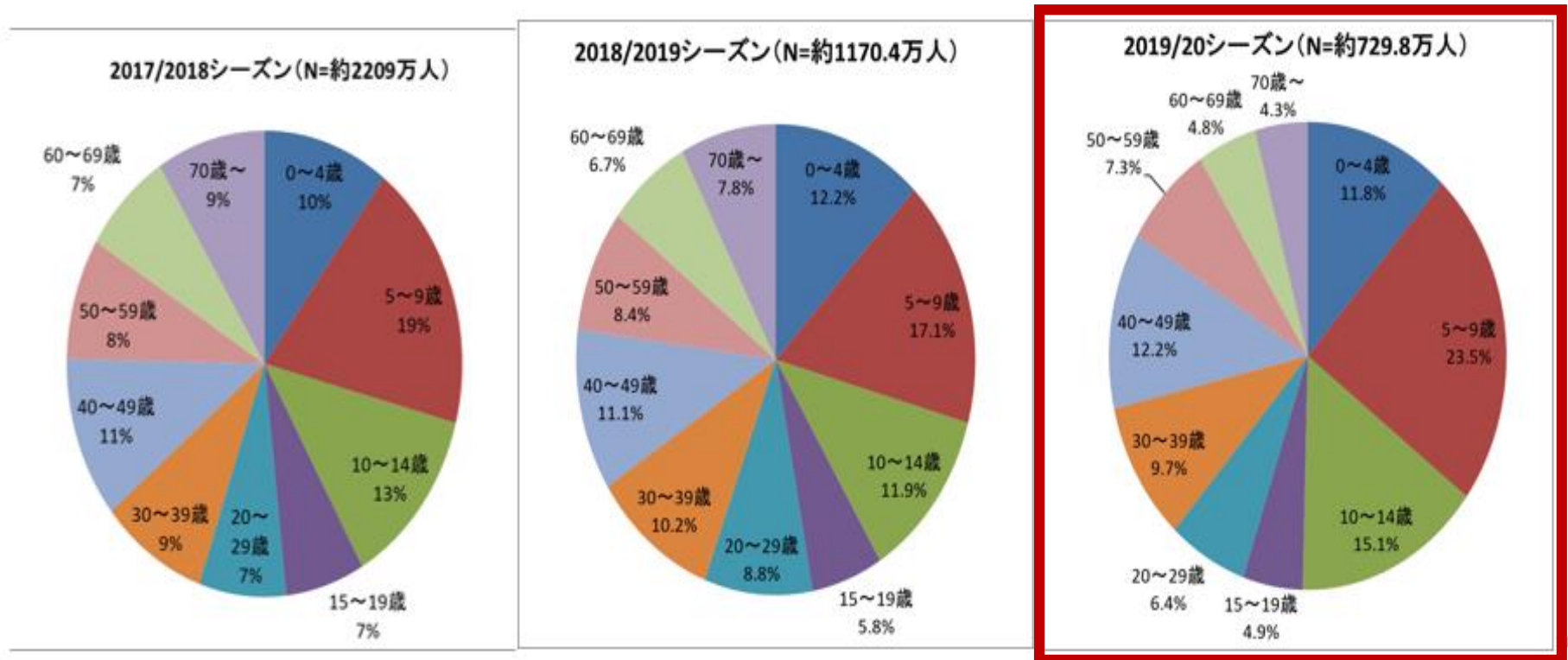


インフルエンザ入院患者報告数



※参考値として示している2017/18シーズンの値は、以後2シーズンに比較して約1.54倍程度としてそれぞれ推計された結果であると考えられ、解釈に注意が必要である。

インフルエンザウイルス累積推計受診者数および年齢群割合



- ※ 各シーズン第13週までのインフルエンザ累積推計受診者数及び年齢群割合。ただし、17/18シーズンは推計値が異なる参考値。
- ※ 参考値として示している2017/18シーズンの値は、以後2シーズンに比較して約1.54倍程度としてそれぞれ推計された結果であると考えられ、解釈に注意が必要である。

インフルエンザの入院時の医療対応の実施状況

入院報告数

	2017/18シーズン	2018/19シーズン	2019/20シーズン
男性	10,997	11,001	7,227
女性	9,174	9,184	5,755
総計	20,171	20,185	12,982

入院時の医療対応の実施状況

医療対応	年齢群	2017/2018		2018/2019		2019/2020 (17週まで)	
		あり	%	あり	%	あり	%
ICU利用	0～14歳	142	2.6	133	2.4	174	3.0
	15～59歳	105	5.3	92	4.7	151	10.2
	60歳以上	513	3.9	528	4.0	299	5.2
人工呼吸器 使用	0～14歳	90	1.6	71	1.3	96	1.7
	15～59歳	60	3.0	73	3.7	102	6.9
	60歳以上	399	3.1	398	3.0	265	4.6
頭部CT	0～14歳	565	10.3	676	12.4	649	11.2
	15～59歳	163	8.2	182	9.3	171	11.6
	60歳以上	1282	9.8	1314	9.9	599	10.5
頭部MRI	0～14歳	235	4.3	228	4.2	283	4.9
	15～59歳	71	3.6	78	4.0	54	3.7
	60歳以上	300	2.3	270	2.0	145	2.5
脳波	0～14歳	222	4.1	203	3.7	229	4.0
	15～59歳	25	1.3	20	1.0	18	1.2
	60歳以上	48	0.4	37	0.3	20	0.4

インフルエンザウイルス分離・検出報告数の割合

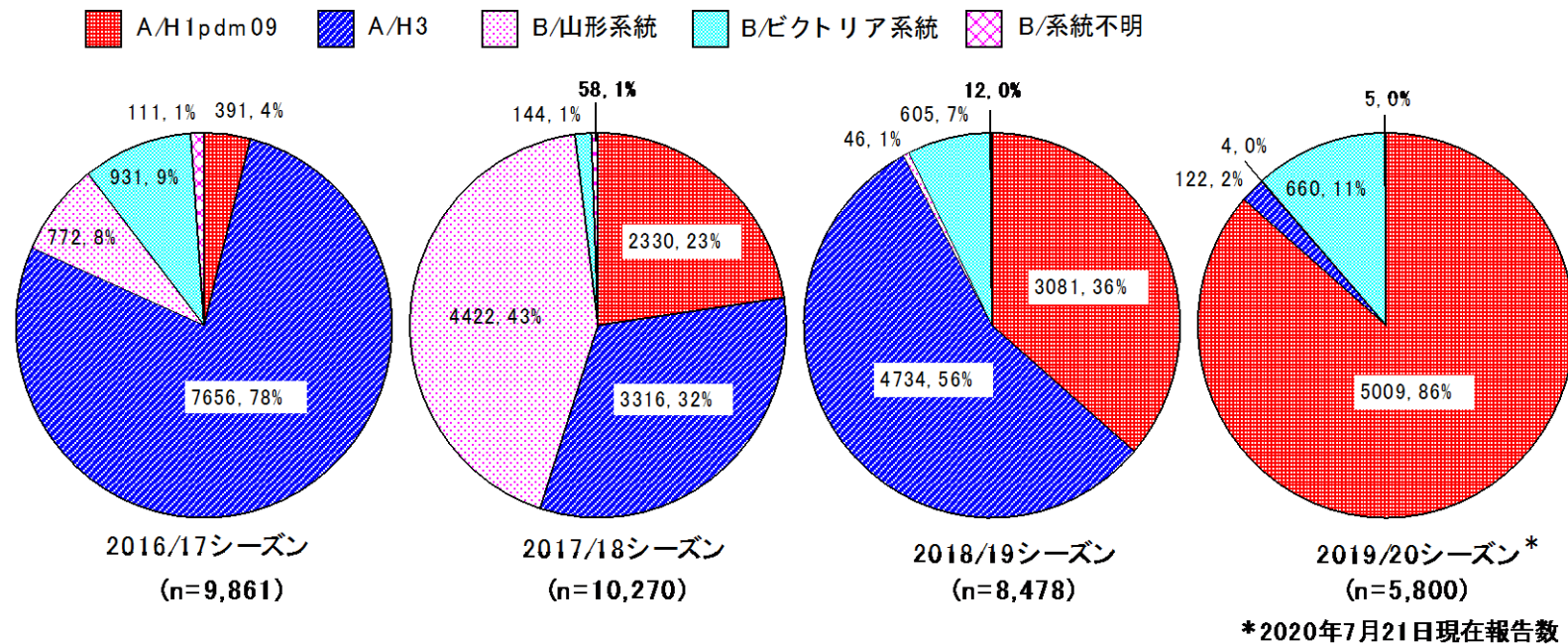
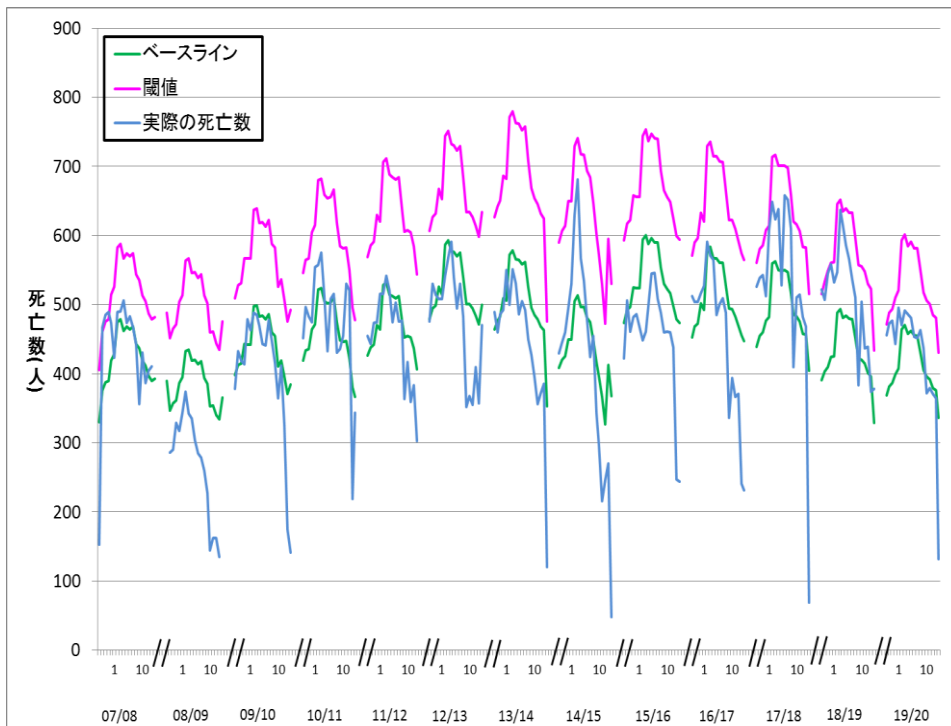


図5. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の割合、2016/17～2019/20シーズン

インフルエンザの超過死亡の推移

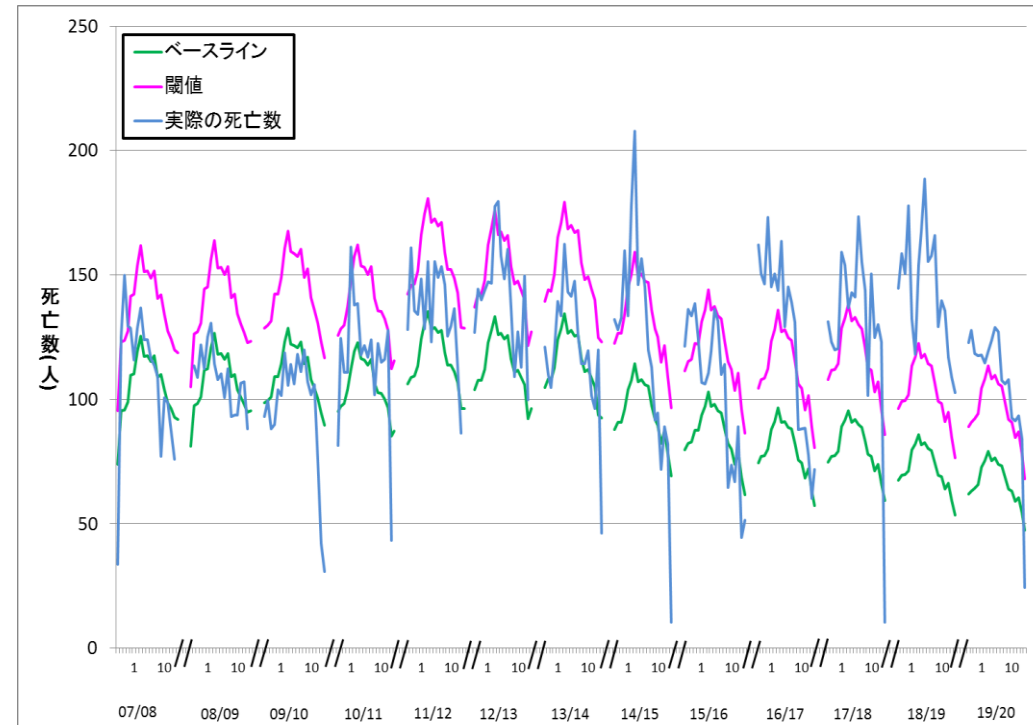
超過死亡については、今後、ICD改定の影響の検討を行い、より精緻な形で実施していく予定。なお、従前の分析方法に基づく結果は以下のとおり。

大都市の死亡者数・超過死亡の推移



※実際の死亡者数（青線）の合計がベースライン（緑色）を超えている週があるものの、超過死亡があったと認められる95%信頼区間の上限である閾値（ピンク線）を上回った週は観察されなかった。

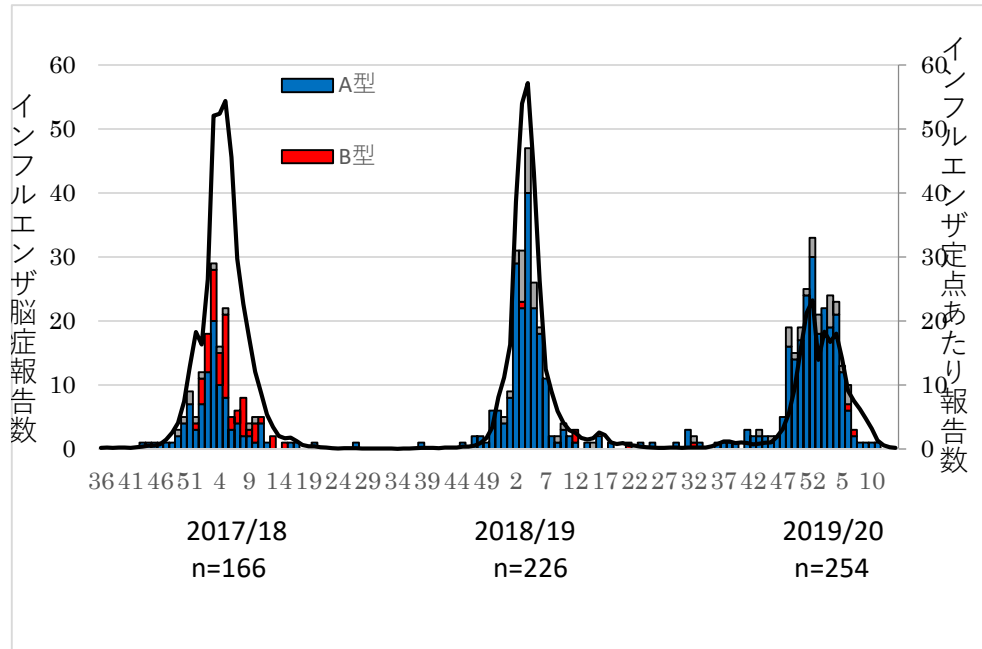
東京都特別区の死亡者数・超過死亡の推移



※ 本事業の情報から新型コロナウイルス感染症による超過死亡かどうかを判断することはできません。
サーベイランスや閾値は、2017年からのICD改定の影響を受けて過小推定と思われる傾向が直近3シーズン続いているため、その影響の程度について検証する予定。

インフルエンザ脳症の報告数

インフルエンザ脳症の報告数



インフルエンザ脳症の年齢別割合

